

は じ め に

かながわ環境白書は、神奈川県における環境の現状と保全のための施策について広く県民に周知し、環境問題に対する認識と理解を深めていただくため、毎年、環境基本条例に基づき発行しており、この白書では、平成30年度における県の取組及び今後の取組の方向性について記載しています。

最近の環境を取りまく状況を概観すると、深刻化する海洋汚染、特にプラスチックごみによる汚染が、世界規模の問題となっています。このため、県では、平成30年9月に「かながわプラごみゼロ宣言」を公表し、プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止・回収などにより、2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされない、廃棄されるプラごみゼロを目指し、企業や市町村の皆様等と連携しながら取組を進めています。

また、気温の上昇や豪雨の頻度増加等の気候変動により、健康、自然災害などの各分野への影響も現れています。平成30年度には「気候変動適応法」が施行され、県も気候変動適応の取組が求められています。

この白書では、これら「かながわプラごみゼロ宣言」に係る取組や相模湾に漂着するマイクロプラスチック調査の推進、気候変動への適応の取組について特集記事を設け解説しています（14～21ページ）。

将来にわたって良好な環境を保全し、次の世代に引き継いでいくことは、私たちの重要な責務です。この白書が、多くの皆様の環境問題に関する理解を深めるとともに、環境の保全・創造活動に取り組まれる際の一助となれば幸いです。

